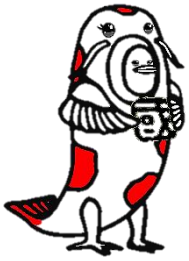
国府小学校だより　令和８年度第１５号

おとわがわ



〇アサギマダラが国府小学校に飛んできました！！

「**アサギマダラ**」という蝶は大変珍しく、長距離を移動することで有名です。春から夏にかけては北へ、秋になると南へ、海を越えて大移動します。その距離は2000㎞にもおよび、沖縄や台湾まで飛ぶこともあるそうです。アサギマダラは「フジバカマ」の花の蜜を好んで吸うそうです。



北門周辺に咲くフジバカマ

フジバカマは、キク科のヒヨドリバナ属の多年生植物です。

昨年の冬、地域の方よりフジバカマの種をいただきました。冬の間は室内で育て、少しずつ大きくなっていきました。春になってから、北門の近くにある畑に植え替えました。

夏の終わり頃になると大きく育ち、美しい花を咲かせるようになりました。

１０月２０日。７組の子供たちが畑の水やりをしているとき、「きれいな蝶が飛んでいるよ」と教えてくれました。よく見てみると、なんとアサギマダラでした。

早速、地域の方に報告しました。すると、すぐに学校へかけつけ、アサギマダラを見て、「やりましたね！」と一緒に喜んでいただきました。



フジバカマの花にとまったアサギマダラ







地域の方のお家の庭でもフジバカマを育てていて、アサギマダラが飛んでくるそうです。先日は、卵をオキワカメの葉に産み付けたと教えてくださいました。そのオキワカメを学校に持ってきてくださり、職員玄関に置いてあります。オキワカメの葉にとまっているアサギマダラの幼虫が、少しずつ大きくなり始めています。今後、どのような成長を見せてくれるか、今からとても楽しみです。

子供たちにとって、生き物が育つ様子を観察することは、「生命の神秘」について学ぶよい機会です。また、フジバカマは環境省で「準絶滅危惧種」に指定されており、こうした花を守っていくことは「環境」について学ぶことにもつながります。地域の方のご厚意で、有意義な学びの機会をいただきました。学校へお越しの際は、北門のあたりでアサギマダラをぜひ探してみてください。